

協友フェスティバル水和剤



作成・改訂日：2015年9月2日

版：1.0

1. 製品及び会社情報

製品名：	協友フェスティバル水和剤		
会社名：	協友アグリ株式会社		
住所：	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町6番1号 山万ビル11階		
担当部署：	普及・マーケティング部		
電話番号：	03-5645-0706		
FAX番号：	03-3639-5299		
メールアドレス：	info@kyoyu-agri.co.jp		
推奨用途及び使用上の制限：	農薬（殺菌剤）。農薬登録範囲外の使用は不可。		
緊急連絡先：	（公財）日本中毒情報センター		
中毒110番	一般市民専用電話 （情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料：1件2000円）	
大阪 （365日、24時間対応）	072-727-2499	072-726-9923	
つくば （365日、9-21時対応）	029-852-9999	029-851-9999	

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学物質名	含有率 (%)	化学式又は 構造式	官報公示整理番号 化審法/安衛法	CAS No.
ジメトモルフ (E,Z)-4-[3-(4-クロロフェニル)-3-(3,4-ジメトキシフェニル)アクリロイル]モルリン	50.0	$C_{21}H_{22}ClNO_4$	安衛法 8-(7)-1176	110488-70-5
シリカ 界面活性剤、鋳物質微粉等	≤38.0 残り		安衛法通知対象 312	7631-86-9



3. 危険有害性の要約

GHS の分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 5
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入、粉塵）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼への重篤な損傷・刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	区分外
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分外
	水生環境有害性（急性）	区分 3
	水生環境有害性（慢性）	区分 3

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ
	眼刺激
	発がんのおそれ
	長期的影響により水生生物に有害

(予防対策)

使用前に取扱い説明書を入手すること。粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。環境への放出を避けること。この製品を使用する時に飲食、または喫煙しないこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。必要な個人用保護具を使用すること。取扱い後は多量の水と石鹼でよく洗うこと。

(緊急対応)

気分が悪い時は医師に連絡すること。流出物を回収すること。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断／手当を受けること。吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。飲み込んだ場合は、口を漱ぐこと。

(保管)



施錠して保管すること。

(廃棄)

適切に分別した内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

4. 応急処置

一般的注意事項：

皮膚、眼及び衣服への接触を避ける。汚れた衣服は直ちに取り替える。問題が生じた場合は医師の診察を受ける。その際に、容器、ラベル、製品安全データシートを見せる。

吸入した場合：

安静に保ち、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：

直ちに水と石鹸で十分に洗い流す。刺激がある時は医師の手当てをうける。

眼に入った場合：

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

直ちに口をすすぎ200～300mLの水を飲ませた後、医師の手当てを受ける。中毒情報センターあるいは医師の指示なしに吐かせてはならない。

医師への注意：

症状に応じて処置（洗浄・機能回復）を講じる。特定の解毒剤はない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

泡消火剤、噴霧水、二酸化炭素、粉末消火剤、散水

特異的な危険物質：

一酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物、有機塩素系化合物
上記物質／化合物は火災の際に生じる可能性がある。

防護服等：

協友フェスティバル水和剤



作成・改訂日：2015年9月2日

版：1.0

自給式呼吸器及び耐薬品防護服を着用する。

その他情報：

火災、爆発時には発生した煙を吸わないようにする。火災に暴露した場合、容器を水で冷却する。火災現場より流出した水を集め、排水経路に流れ込まないように注意する。火災による残骸及び汚染された消火排水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

人的注意：

暴露防止措置に記載された保護具を着用する。眼、皮膚及び衣服への付着を避けること。

環境への注意：

土中、排水口、地表水及び地下水へ排出しない。

処理法：

少量のものは湿らせて器具を用いてすくい上げて廃棄する。

大量のものは掃き集めてシャベルですくい取る。

吸着させたものは法令に従って処分すること。容器に入れて密封しラベルを貼る。環境規制に照らし合わせ、水や洗剤で汚れた床物質を洗浄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

正しく保管及び取扱いをするのであれば、特別な対策は必要ない。保管場所及び作業場所では換気をよくすること。

火災および爆発に対する保護：

粉塵は空気の下で粉塵爆発の危険性を伴う。粉塵を発生及び堆積させないようにする。発火源となる静電気の蓄積を防ぐ。消火器を常備する。

保管

食料品や家畜飼料から隔離して保管する。酸化物質から隔離して保管する。

その他保管条件等：湿気を避けて保管する。熱源より遠ざける。直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管する。

保管安定性

36ヵ月間安定。

40℃を超える条件での保管を避ける。本剤やその製品を左記に示した温度条件を超えて長期間保管した場合、その品質・特性が変化することがある。



8. 暴露防止及び保護措置

作業場で制限を受ける成分

1332-58-7: カオリン

7631-86-9: 二酸化珪素

112926-00-8: シリカ（結晶を含まない析出物）

個人の保護具

呼吸保護具：

吸入可能なエアゾール/粉塵が発生した場合には、呼吸保護具を着用する。固体および液体微粒子に対し中程度の効果のあるフィルター付き呼吸保護具を着用する（例えば、EN 143 あるいは 149、Type P2 あるいは FFP2）。換気が不十分な場合にも呼吸保護具を着用する。

保護手袋：

長時間、直接接触する場合は、化学薬品耐性の保護手袋（EN374）を着用。（EN374 に従い、保護指数 6、480 分以上の浸透時間を推奨）：例えば、ニトリルゴム（0.4mm）、クロロプレンゴム（0.5mm）、ブチルゴム（0.7mm）など。

保護眼鏡：

サイドシールド付き保護眼鏡（フレーム付きゴーグル）、（例えば、EN166）

保護衣：

保護衣は作業内容および暴露可能性にもとづいて選択する。例えば、作業エプロン、保護長靴、化学薬品耐性スーツ（飛沫が発生する場合は EN14605 に準拠、粉塵が発生する場合は EN ISO13982 に準拠）。

一般的な安全衛生管理上の手段：

粉塵を吸入しない。消費者用の容器に入った農薬を扱う場合は、個人用保護具の使用説明が適用される。皮膚、眼及び衣服への接触を避ける。密閉された作業着を着用する。食料、飲料及び家畜飼料からは分けて保管し、作業所での飲食及び喫煙も避けること。作業着は分けて保管すること。衣服に付着した場合は直ちに着替え、安全に廃棄すること。作業終了または休憩時には顔や手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観等： 類白色粉末

見かけ比重： 200-300 kg/m³



pH：	6.8
引火点：	引火しない
発火点：	発火しない
水溶解度：	懸濁する
融点：	125-149°C（ジメトモルフ原体の情報）

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件：湿度および極端な高温

避けるべき物質：強酸、強アルカリ、酸化物質

金属腐食性：知見なし

有害反応性：指示どおりの保管及び取扱いにおいて有害反応はない。

有害分解物質：指示どおりの保管及び取扱いにおいて有害な分解物は生じない。

11. 有害性情報

急性毒性：

LD₅₀（ラット、経口）：雄 6000 mg/kg、雌 3600 mg/kg

LD₅₀（ラット、経皮）：> 2000 mg/kg

LC₅₀（ラット、吸入）：> 2.387 mg/L（4時間暴露、エアゾール）

刺激性：

皮膚刺激（ウサギ）：刺激性なし

眼粘膜刺激（ウサギ）：中等度の刺激性あり

感作性：

感作性なし（モルモット：Maximization法）

発がん性：本製品に含まれる鉱物質微粉は天然鉱産物であり、天然由来の石英(シリカ)を含む。区分1Aに分類される石英(シリカ)をカットオフ値の0.1%以上含有していると考えられるので区分1Aとした。

その他毒性：誤用により健康に有害となる可能性がある。

12. 環境影響情報

魚毒性：

LC₅₀（コイ） 18.1mg/L（96時間）

水生無脊椎動物：

EC₅₀（ミジンコ） >10.6mg/L（48時間）

水生植物：

ErC₅₀（藻類） >19.2mg/L（0-72時間）

協友フェスティバル水和剤



作成・改訂日：2015年9月2日

版：1.0

その他：環境中への排出については、環境法令や規制・基準に従って適切に処理する。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従って処分する。

廃棄を避ける為に、本製品は登録の使用方法にしたがい、完全に使いきるようにする。汚染された容器はできるだけ取り除き、製品と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

運搬に際し、容器の漏れのない事を確認し、落下、転倒、衝突を避ける。取扱い及び保管上の注意の項に留意する。

参考情報（海外規制）

	規制	危険 クラス	国連 番号	包装 グループ	容器記載
海上輸送	IMDG / GGVSee	9	3077	III	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains DIMETHOMORPH 50%) Maritime pollutant: Yes
航空輸送	IATA / ICAO	9	3077	III	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains DIMETHOMORPH 50%)
陸上輸送	ADR / RID	9	3077	III	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains DIMETHOMORPH 50%)
内水面 輸送	ADNR	9	3077	III	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains DIMETHOMORPH 50%)

15. 適用法令

農薬取締法：登録番号 第 23692 号

労働安全衛生法：シリカ（通知対象物質、政令番号 312）

廃掃法

PRTR に該当しない。

参考情報（欧州連合の規制）

有害性シンボル： N

協友フェスティバル水和剤



作成・改訂日：2015年9月2日

版：1.0

R-phrase : R51/53

S-phrase : S2、S13、S20/21、S35、S57

16. その他の情報

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取扱を対象とした物なので、特殊な取扱の場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・本資料は BASF ジャパン株式会社発行の製品安全データシートに基づき作成しております。